

経済社会学会編

情報と社会システム

経済社会学会年報・IX

時潮社

目次

〈共通論題〉

永安 幸正

福田 亘

土屋 武夫

〈自由論題〉

中野 千秋

山元 隆

長屋 泰昭

長尾 聡哉

大橋 照枝

大沢 秀男

鉢野 正樹

橋本 昭一

吉尾 博和

後藤 隆

情報と社会システム

情報と社会システム……………一

情報と社会主義経済システム……………一七

社会の情報化と企業進化論—最近における情報論的パラダイム—……………三三

比較企業文明論の試み—国際化時代の日本の経営論—……………四七

日本の社会風土と競争問題—過当競争解明の為の試論—……………五九

現代経済社会とその調整システム……………六九

多元社会化と経済政策論……………八五

消費社会の変化のモメント……………九七

消費意識の変容による小売業構造の動態……………一〇七

経済社会学方法論序説—ゴットルの生活学を中心に—……………一三

「人間の学」としての経済学—マーシャル社会経済学の方法—……………一四

シムペーターの体制転形論—資本主義の生理と病理—……………一五

R、S、リンド権力論のプロトタイプ—資本による消費者意識の組織化—……………一六

山田 雄三
吉川 光治

ポッパールの社会科学論についての補論四点……一七九

三貨制度と墨西哥銀……一八五

〈研究ノート〉

楠本 修

経済的権力の背景……一八五

〈書評〉

戸田 信正

田村正勝著『社会科学のための哲学』……二〇一

村上 綱実

富永健一著『社会学原理』……二〇七

宇佐見義尚

情報文化研究フォーラム編『情報と文化』……二二三

吉尾 博和

金指基著『シュンペーター研究』……二二七

〈学会記事〉

〈経済社会学会会則〉

……二二三

……二二六

〈編集後記〉

……二二三

編集後記

ばなるまい。

コンクリートの広い直線道路と四角い重層住宅が、美しく配置されている筑波研究学園都市にある「図書館情報大学」で、経済社会学会の第二回全国大会は開催（六一年九月二七・二八日）された。このホテルに宿泊して動きまわったが、狭隘と喧擾のなかで常日頃の生活を営み、そこからなんらかの現象をさぐり出そうと試みる凡人にとっては、人工的都市美に対してどうもなじみにくい一面があった。このような複雑な社会システムを基盤に置く経済社会であるがゆえに、いっそう情報が期待されるのかもしれない。大会の共通論題「情報と社会システム」はそのまま年報九号の表題に使用した。

締切日である六二年三月末までに大部分の原稿は送附されてきた。しかし予定原稿の一冊を欠いても編集は一步もすすまない。最終の原稿が入った日から、版下、図表の検討、割りつけ、活字選択、頁建などの作業にかかり、出版社に依頼して印刷にまわる手順となる。最後の過程でやや混乱をみせたが、ともあれ、初校は七月上旬から出はじめた。今年もまた夏期休暇をよそに編集委員は、出版社と執筆者との連絡に取組むのである。とくに出版社に対しては前号年報の未払分を残したまま、新しい本号を依頼する負い目が続く。これを解決するには会員の拡大しかないとしても、そのために年報が役立っていないけれ

年報は大会記録を中心に編集する方針に変化はない。しかし学会記事にあるように大会座長、討論者の短評などを加え、さらに会員外から自由原稿も次号から受け入れるように間口を広げた。ただ編集者としてはほかの学会がそうであるからといっても、恰もME化された技術構造から生産される大量の規格品のような年報にならない程度の自由は、留保しておきたいところである。

対外純資産残高一、八〇四億ドル（六一年）と二年連続で世界一の債権国になったわが国は、わずか六カ月で東証株価が一万円上昇、盛場の土地で坪一億円から二億円になり、財テクで年間一、〇〇〇億円単位で稼ぎ出す大手メーカー。どうみても正常がないこの頃といえそうである。一九二九年型恐慌の再来を予想する主張の多いなかで、コンドラチェフ理論を応用すると、不況は一九九〇年頃にはじまるともいう。いつの日か経済社会学会の全国大会における共通論題として、「恐慌の経済社会学」をとりあげなければ幸である。（小泉記）

経済社会学会 年報編集委員会

委員長 小泉 幸之輔

金指 基

宇佐見 義尚

小原 昌穹

上沼 正明

村上 綱実

情報と社会システム

(検印廃止)

1987年9月25日 初版第1刷発行

経済社会学会編集委員会

編集代表者 小泉 幸之輔

発行者 大内 敏明

時 潮 社

〒113 東京都文京区本郷2-12-6

電話 03 (811) 8024

振替 東京 5-38910

印刷 文昇堂

製本 仲佐製本所

© 小泉幸之輔 1987年(分)3036(製)16200(出)3204

Printed in Japan